



NICHIBAN

第113期 第2四半期報告書

2016年4月1日▶2016年9月30日

ニチバン Life

Contents

株主の皆様へ	1
セグメント情報	3
ニュース/CSR活動	5
連結財務ハイライト	6



ナイスタック™ は愛されて50年、
さらに愛される50年へ。



代表取締役社長

堀田直人

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2016年4月1日から2016年9月30日に行たる第113期（2017年3月期）第2四半期報告書（ニチバンLife）をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

第113期第2四半期（上半期）の業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得情勢が堅調に推移し、公共投資や民間の維持・更新投資が景気を下支えしているものの、個人消費はなお停滞が続いています。円高の進行やインバウンド需要の変調、英国のEU離脱決定などもあり企業部門の生産・輸出は一進一退が持続しており、企業収益の下振れが見られるなどの影響が出てきております。

このような経済情勢のなか、当社グループは中長期経営計画【NB100】における最終3ヵ年計画「Stage3」をこの4月よりスタートいたしました。Stage3計画は、ブランド力強化・シェア向上による成長戦略の遂行、500億企業としての企業品質と収益性基盤の確立を軸としており、この成長軌道を確認なものとするためのStage3初年度施策に積極的に取り組んでまいりました。その結果、売上高は215億1千万円（前年同期比5.1%増）、経常利益は18億9千2百万円（前年同期比23.6%増）、第2四半期純利益は14億3千6百万円（前年同期比133.4%増）となりました。

メディカル事業におきましては、鎮痛消炎剤「ロイヒつぼ膏TM」は、訪日外国人観光客への販売が継続し、製品シリーズ展開の効果とも併せ、売上は非常に好調に推移いたしました。高機能救急絆創膏「ケアリーヴTM」シリーズは、テレビCM放映を展開し、消費者への製品ブランド告知を強

化して、ドラッグストア店頭での販売を伸ばしました。「ケアリーヴTM治す力TM防水タイプ」も販売実績を拡大して、売上は好調に推移いたしました。

医療機関向け医療材料市場におきましては、医療現場のニーズを取り入れて製品化いたしました、極低刺激性サージカルテープ「スキナゲートTMスパット」、フィルムドレッシング材「カテリープラスTM」の販売に注力しました。併せて、手術の傷あとケアテープ「アトファインTM」、リニューアルした皮膚接合用テープ「ファスナートTM」を術後トータルケアシリーズの新ブランド“アスカブリックTM”製品として提案活動にも注力した結果、売上は順調に推移いたしました。

文具事務用品市場におきましては、官公庁及びオフィスでの需要の縮小傾向が続く、個人消費も伸び悩んでいるため、依然として厳しい販売環境となりました。このような状況のなか、既存製品の販売活動と合わせ、パーソナル向け製品“ディアキチTM”シリーズの「ワザアリTM」テープ、「プチジョアTM」シリーズを拡大展開いたしました。当第2四半期の新製品としては、テープのり“tenoriTM”シリーズの「イチオシTM」を発売し、販売活動を展開しております。また、「セロテープ[®]」他一部製品も販売の持ち直しを見せて、売上は堅調に推移いたしました。

産業用テープ市場におきましては、国内消費は緩やかに回復を続けるものの、国際経済情勢不安による設備投資の足踏みや、一部輸出産業の

【NB100】達成に向けて Stage3初年度施策を目標どおり実行し 成長軌道をより確かに

弱含みにより、厳しい販売環境となりました。このような状況のなか、食品包装用テープと塗装マスキング用テープの提案活動を展開いたしました。主力製品である「セロテープ®」は、収益基盤構築のための販売戦略を継続して、売上は順調に推移いたしました。また、前連結会計年度に発売しました果樹枝固定用「とめたつ™」テープの普及に注力して新規売上を計上いたしました。フィールド全体としては、市況停滞の影響により売上は厳しい推移となりました。しかしながら、生産の効率化と販売戦略を推し進めたことにより、当フィールドでの利益は増加しております。

海外事業におきましては、各国でのマーケティング活動を継続し、海外需要に対応した製品開発を進めております。また、各国の展示会や商談会などにも出展し、高機能救急絆創膏「ケアリーヴ™」製品群などのメディカル事業製品や、塗装用和紙マスキングテープなどのテープ事業製品の販売チャネルの構築と売上拡大を進めております。

第113期下半期の取組みについて

当社グループは、中長期経営計画【NB100】目標達成に向けて、

- *顧客を機軸とした積極的拡大施策と新たな価値の創造による事業成長戦略の遂行

*グループ最適生産体制構築の推進とともに、事業構造変革の実行による全社収益性の向上

*世界に通用する人財育成とグループ全体の品質向上、コーポレートガバナンスの強化

の方針のもと、Stage3初年度施策を確実に実行してまいります。

将来の成長追求に向けた重要な施策となる「医薬品生産工場の新設」につきましては、2016年6月14日に着工いたしました。2018年1月工場竣工に向けて、建設工事を進めてまいります。

併せて、テープ事業最適生産体制構築の施策として、大東化工株式会社（本社：岐阜県岐阜市）の株式を取得し、11月1日付けで持分法適用関連会社とすることを決定いたしました。当社といたしましては、今回の株式取得を契機により広く業務提携を実施し、両社のノウハウの有効活用、事業効率の向上を図り、企業価値の向上につなげていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、当社グループの業績向上にご期待いただき、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

MEDICAL

メディカル事業



売上高比率
42.7%



営業概況

ヘルスケアフィールド

ドラッグストアを中心とした大衆薬市場におきましては、大手ドラッグチェーンの業務提携化や、一部医薬品や商品の小売価格競争が続き、厳しい販売環境ではありましたが、鎮痛消炎剤「ロイヒつぼ膏TM」は、訪日外国人観光客への販売が継続し、製品シリーズ展開の効果とも併せ、売上は好調に推移いたしました。高機能救急絆創膏「ケアリーヴTM」シリーズは、テレビCM放映を展開し、消費者への製品ブランド告知を強化して、ドラッグストア店頭での販売が伸びました。前連結会計年度に発売いたしました「ケアリーヴTM治す力TM防水タイプ」も販売実績を拡大して、売上は好調に推移いたしました。

医療材フィールド

医療機関向け医療材料市場におきましては、医療費の削減傾向が続くなか、衛生材消耗品へのコスト要求は強く、厳しい販売環境ではありましたが、医療現場のニーズを取り入れて製品化いたしました、極低刺激性サージカルテープ「スキナゲートTMスパット」、フィルムドレッシング材「カテリープラスTM」の販売を進めるとともに、皮膚接合用テープ「ファスナートTM」をリニューアルし、手術後の傷あとケアテープ「アトファインTM」と併せて、術後トータルケアシリーズの新ブランド「アスカブリックTM」製品として提案活動に注力し、売上は順調に推移いたしました。

TOPICS

「ケアリーヴTM治す力TM」シリーズのプロモーション強化

高機能絆創膏「ケアリーヴTM治す力TM」の販売促進に向けて、プロモーション活動を展開しています。

レギュラータイプでは、サッカー・スペインリーグの名門クラブ「FCバルセロナ」のスター選手を起用したテレビCM第2弾を全国で放映。少年サッカーの試合を舞台に、子どもを見守る母の愛と、「FCバルセロナ」のスター選手たちと子どもの交流を描くことで、商品の特長を訴求しました。

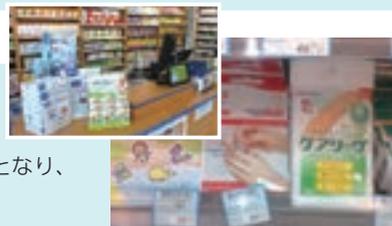
また、防水タイプではショートムービー「高度10mの主婦たち」を特設サイトおよびニチバンYouTube公式チャンネルで公開しました。本ムービーは、主婦に扮した水泳飛び込み競技の選手・元選手による高度な演技を通じて、飛び込みによる衝撃でも剥がれず、水に強い特長を視覚的に表現しました。



海外

「ケアリーヴTM」海外展開拡大

海外事業につきまして、各国の需要に対応した販売チャネルの構築を進めています。高機能救急絆創膏「ケアリーヴTM」については、2016年7月からタイの大手コンビニエンスストアで採用され、フランスでは欧州初の発売となり、順調に海外展開が進んでいます。



新製品情報

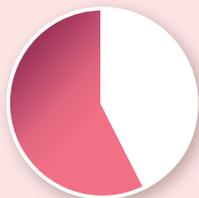
「ニチバンの術後ケア」シリーズの展開

術後ケア製品についてファミリーブランド“和名：アスカブリックTM（英名：AscablicTM）”を立上げ、術後トータルケアシリーズの認知を高めていきます。シリーズ第1弾として帝王切開など外科手術の傷あとを保護する専用ケアテープ「アトファインTM（AtofineTM）」を発売し好評をいただいております。第2弾は従来品をリニューアルした「ファスナートTM（FASNAHTTM）」を発売し、手術創や小外傷の閉鎖、縫合部の補強のための皮膚接合用テープで、貼りやすさやサイズラインアップにもこだわり、使いやすさを追求しました。

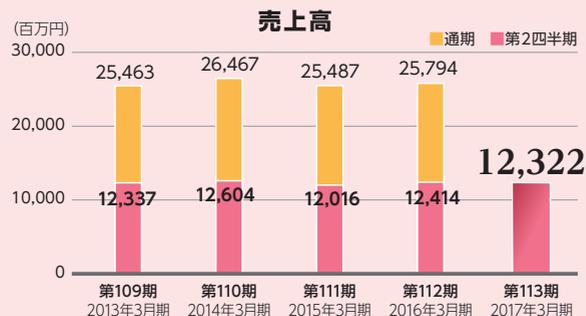
AscablicTM
ニチバンの術後ケア

TAPE

テープ事業



売上高比率
57.3%



営業概況

オフィスホームフィールド

文具事務用品市場におきましては、官公庁およびオフィスでの需要の縮小傾向が続き、個人消費も伸び悩んでいるため、依然として厳しい販売環境となりました。このような状況のなか、既存製品の販売活動と合わせ、パーソナル向け製品「ディアキチ™」シリーズの「ワザアリ™」テープ、「プチジョア™」シリーズを拡大展開いたしました。当第2四半期の新製品としては、テープのり「tenori™」シリーズの「イチオシ™」を発売し、販売活動を展開しております。また、「セロテープ®」他一部製品も販売の持ち直しを見せて、売上は堅調に推移いたしました。

工業品フィールド

産業用テープ市場におきましては、国内消費は緩やかに回復を続けるものの、国際経済情勢不安による設備投資の足踏みや、一部輸出産業の弱含みにより、厳しい販売環境となりました。このような状況のなか、食品包装用テープと塗装マスク用テープの提案活動を展開し、売上の拡大を目指しました。主力製品である「セロテープ®」は、収益基盤構築のための販売戦略を継続して、売上は順調に推移いたしました。また、前連結会計年度に発売いたしました果樹枝固定用「とめたつ™」テープの普及に注力して新規売上を計上いたしました。フィールド全体としては、市況停滞の影響により売上は厳しい推移となりました。しかしながら、生産の効率化と販売戦略を推し進めたことにより、当フィールドでの利益は増加しております。

新製品情報

「テープのり tenori™ イチオシ™」新発売

好評のテープのり「tenori™ (てのり™)」シリーズの第3弾として、学生の「プリント貼り」に適した「テープのり tenori™ イチオシ™」を発売しました。

スタンプ感覚で狙った位置にポンと押せるガイド付きなので、プリントだけでなく、メモ、切手、領収書など、小さなものを貼る際にも便利。また、強粘着のりを使用しているため、プリントの四隅を押すだけでしっかり、きれいに貼ることができます。まさにプリント貼りにイチオシ！のテープのりです。



TOPICS

誘引結束機「とめたつ™」拡販中

2016年3月に発売しました誘引結束機「とめたつ™」が当初の売上見込みを上回り好調な販売実績で推移しています。機器本体を軽量化し、グリップの握りを軽くしたコンセプトが受け入れられ、ぶどう農園やきゅうり農園での誘引作業において非常に作業が楽になったと好評をいただいております。



TOPICS

「ナイスタック™」が発売50周年を迎え、パッケージをリニューアル

両面テープ「ナイスタック™」ブランドは1966年12月から発売され、今年で50周年を迎えました。このたび50周年を記念しまして、パッケージをリニューアルいたします。ユーザーの方が購入する際に最も重視する粘着力を4段階の数字で表記するなど、より一層認知されるパッケージデザインになっております。「ナイスタック™」ブランドはこれからも皆様の快適な生活を支え続けてまいります。



ナイスタック™ は愛されて50年、さらに愛される50年へ。
50th anniversary

メディカル事業生産拠点の再編 新医薬品工場、順調に建設中

2016年6月に着工、2018年1月から本格稼働

中長期経営計画【NB100】で今後の成長分野と位置づけるメディカル事業につきまして、OTC貼付剤および医療用貼付剤の需要拡大に対する生産能力拡充を目的として、新工場の建設を愛知県安城市の安城事業所敷地内にて進めております。

2016年6月14日には地鎮祭が無事に執り行われ、本工事が開始となりました。その後9月12日に立柱式も行われ、鉄骨建方工事が始まり順調に建設工事は進んでいます。



外観イメージ



新工場の概要

所在地	愛知県安城市二本木新町3-1 (現在の安城事業所敷地内)
建築面積	約 4,700 m ²
延床面積	約16,000 m ² (うち研究所部分 約2,500m ²)
主要生産品	鎮痛消炎貼付剤、 経皮吸収型製剤等
総工費	建物建設費、新規設備含め 約80億円

CSR活動



第7回 ニチバン巻心ECOプロジェクト

巻心受付期間 2016年9月1日～2016年12月12日

使用済み粘着テープの巻心を回収する環境活動「第7回 ニチバン巻心ECOプロジェクト」を12月12日まで実施しています。

回収した巻心は、資源としてダンボールにリサイクルし再利用するとともに、その収益金と当社からの支援金を環境NGOに寄付し、マングローブの植樹やメンテナンスの活動を支援します。全国規模で毎年多くの皆様にご賛同いただき、プロジェクト開始以来巻心の回収個数は累計で210万個を突破しました。

応募等の詳細は、特設WEBサイトをご覧ください。
<http://www.nichiban.co.jp/project/makisin-eco/>

連結財務ハイライト

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期 2016年3月31日現在	当第2四半期 2016年9月30日現在
資産の部		
流動資産	34,293	33,489
現金及び預金	12,580	12,182
受取手形及び売掛金	13,773	13,394
たな卸資産	6,040	6,505
その他	1,899	1,406
固定資産	18,597	20,377
有形固定資産	14,627	16,169
無形固定資産	276	259
投資その他の資産	3,693	3,949
資産合計	52,890	53,867
負債の部		
流動負債	16,133	16,363
支払手形及び買掛金	4,343	3,848
電子記録債務	5,258	5,867
その他	6,531	6,648
固定負債	8,617	8,471
長期借入金	2,000	2,000
退職給付に係る負債	2,936	3,022
その他	3,680	3,448
負債合計	24,750	24,835
純資産の部		
株主資本	27,796	28,776
その他の包括利益累計額	343	255
純資産合計	28,140	29,032
負債純資産合計	52,890	53,867

1

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	当第2四半期 2016年4月1日～ 2016年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,129	2,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△858	△1,864
財務活動によるキャッシュ・フロー	△470	△550
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	0
現金及び現金同等物の増減額	797	△297
現金及び現金同等物の期首残高	10,959	12,802
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,756	12,504

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	当第2四半期 2016年4月1日～ 2016年9月30日
2 売上高	20,472	21,510
売上原価	14,081	14,419
売上総利益	6,390	7,091
販売費及び一般管理費	4,916	5,255
2 営業利益	1,473	1,835
営業外収益	129	127
営業外費用	72	70
2 経常利益	1,530	1,892
特別利益	—	179
特別損失	600	30
税金等調整前四半期純利益	930	2,042
法人税等	315	605
四半期純利益	615	1,436
2 親会社株主に帰属する四半期純利益	615	1,436

Point 1 四半期連結貸借対照表

愛知県安城市に新設を予定している医薬品生産工場の着工を2016年6月に開始したことに伴い、有形固定資産が増加しております。

Point 2 四半期連結損益計算書

売上高は、主にメディカル事業の好調により、前年同期比5.1%の増収となり、営業利益、経常利益は、メディカル事業の好調に加え、テープ事業において生産・販売両面での効率化が進んだことにより、それぞれ前年同期比24.5%、23.6%の増益となっております。さらに、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期にメディカル事業生産拠点の再編計画に伴う減損損失を計上していたことから、前年同期比133.4%の増益となっております。

財務に関する詳しい情報は、当社ホームページ
<http://www.nichiban.co.jp/ir/> をご覧ください。

売上高

(百万円)



経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(百万円)



(2016年9月30日現在)

会社概要

創業	1918(大正7)年1月
本社所在地	〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号
資本金	54.51億円
従業員数	753名

役員

代表取締役社長	堀田直人	常勤監査役	歌橋正明
代表取締役専務取締役	須藤孝志	常勤監査役	芹澤和弘
常務取締役	酒井寛規	監査役	清水俊行
取締役執行役員	小久保武政	監査役	横井直人
取締役執行役員	伊藤暁		
取締役執行役員	原秀昭		
取締役	清水與二		
取締役	石原達夫		

(注) 取締役のうち清水與二、石原達夫の両氏は社外取締役、監査役のうち清水俊行、横井直人の両氏は社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数	140,000,000株
発行済株式の総数	41,476,012株
株主数	3,883名

大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
大鵬薬品工業株式会社	13,516千株	32.61%
ニチバン取引先持株会	2,162	5.22
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,069	4.99
株式会社みずほ銀行	2,069	4.99
エムエルアイ フォークライアント ジェネラル オムニ ノンコラテラル ノントリーティー ビービー	1,568	3.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,179	2.84
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	1,080	2.61
株式会社りそな銀行	577	1.39
シービーエヌワイ デイエフエイ インターナショナル スモール キャップ パリユー ポートフォリオ	568	1.37
第一生命保険株式会社	555	1.34

(注) 持株比率は自己株式(28,036株)を控除して計算しております。

(注) 従来は、大株主について信託財産を合算(名寄せ)して表示しておりましたが、当第2四半期会計期間末現在の状況から株主名簿の記載どおりに表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の 配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (http://www.nichiban.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に 口座をお持ちの場合	特別口座の場合
お問合せ先		みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324
お取引の証券会社 になります。		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
お取扱店		みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
	未払配当金のみ、株式会社みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いたします。	
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」のお問合せ先までご連絡ください。	単元未満株式の買取以外の株式 売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお 手元に他人名義の株券がある場 合は至急ご連絡ください。

ニチバン株式会社

〒112-8663
東京都文京区関口二丁目3番3号
電話：(03) 5978-5601
<http://www.nichiban.co.jp/>

®は登録商標、TMIは商標です。

株主優待制度について

目的

株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社製品に対する一層のご理解とご愛顧をいただき当社株式への投資魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加促進を図ることを目的としております。

内容

- ①対象となる株主様／毎年9月末の当社株主名簿に記載された株主様のうち、1単元(1,000株)以上を保有する株主様を対象といたします。
- ②贈呈内容／年1回、対象株主様お1人につき3,000円相当の当社新製品を中心とした「製品詰め合わせ」を贈呈させていただきます。
- ③贈呈時期／毎年11月中旬頃を予定しております。

贈呈内容の例



● IRニュース メール配信のご案内

適時開示、決算報告などのIR情報や新製品などの最新情報を、電子メールでタイムリーにお知らせいたします。配信をご希望の方は、当社ホームページ「株主・投資家情報」の「IRニュース メール配信登録」よりご登録ください。

http://www.nichiban.co.jp/ir/ir_news/

FOR BETTER BEING
いつも笑顔でいたいから——ニチバン

